



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ共和国・タンナ島

期間 2009年7月12日～7月21日

参加メンバー

(上段左から) 関根 淳(D) 上崎 秀美(D) 原 順子(V) 中西 謙一郎(V) 大西 富子(H) 山本 喜代(V)

(下段左から) 川田 修弘(V) 沢田 宗久(D) 関根 寿恵(D) 垣内 万智子(H) 田代 博一(V) 村上 まさ子(V)



活動内容

7月12日(日曜日)

9:00、関西国際空港集合。10:50に関西国際空港を離れ、16:30にシンガポールに到着。0:25の飛行機まで自由時間となる。夕食を空港内ですませ、予定通り0:25にシンガポールを発つた。この日は機内での1泊となった。

7月13日(月曜日)

9:55にシドニーへ到着する。空港で朝食をすませ、12:40にシドニーを発ち、17:00ポートビラに到着。各自の荷物を運び出し、迎えの車に乗り、宿泊先となるMelanesian Hotel 1へ向かう。ホテルにて東京組の関根夫妻と合流。夕食はホテルの近くのタイ料理屋でミーティングを兼ねて済ませた。

7月14日(火曜日)



7:00起床。朝食をホテルのバイキングでとり、8:30に迎えの車が到着。Dr. 沢田はポートビラの政府とミーティングのため、明日の午前中にタンナで合流する事となった。ポートビラの空港にて活動中にお世話になるJICAの人達と会う。そして10:00ポートビラを発ち、10:40にタンナ島に到着する。活動中の宿泊先となるゲストハウスヘトラックにて移動する。そして15:00の病院の診療を開始するメンバーと、ゲストハウスを掃除するメンバーに分かれての活動開始。この日の診療はEXT3名、CR3名、クリーニング1名の計

7名だった。4:30撤収準備。ゲストハウスに戻り夕食をとる。ちなみにゲストハウスのシャワーはお湯が出ず、お風呂に関しては日が暮れるまでに入るのがベストだった。夕食の途中JICAの方が訪ねて来られた。この日のミーティングでは活動中の昼食はゲストハウスに戻って食べる事、健康管理のために食事のメニューは暖かい物にするなどの話し合いが設けられた。

7月15日(水曜日)

7:00起床。午前中はトゥフ小学校組(V. 中西、V. 村上、D. 関根、H. 大西) 病院



組(V. 山本、H. 垣内、D. 上崎、D. 関根) 食事組(V. 田代、V. 原)に分かれての活動となった。8:30にPICK UP。D. 沢田とV. 川田に合流するためにトゥフ小学校に向かう前に空港へと向かう。向かう途中で、D. 沢田、V. 川田に合流。D. 沢田とV. 川田は病院へ。トゥフ小学校にてサッカーボールと歯ブラシの寄付。ブラッシング指導、歯科検診を行った。午後はロカタイ小学校組(H. 大西、H. 垣内、V. 山本) 病院組(D. 上崎、D. 関根、V. 中西)

ラナケル小学校組（D．沢田、V．川田、D．関根、V．村上） 食事組（V．田代、V．原）に分かれる。また、病院の保管庫に冷蔵庫があるとの事でゲストハウスへと持ち込む。この日は、サッカーのイベントがあったようで患者数は少なかった。小学校チームの報告では、タンナ島では歯の衛生面において良好と、そうでない子の差が激しいとのデータが出た。

7月16日（木曜日）

7：00起床。朝食をすませ8：20にPICK UPの車が到着。午前中はラナケル小学校組（D．沢田、V．川田、D．関根、V．中西） 病院組（D．関根、H．大西、H．垣内、V．山本） 食事組（V．田代、V．原、V．村上）に分かれる。病院に車で向かい、小学校組は徒歩にて移動。ラナケル小学校にて昨日まだ検診を受けていない者のチェックを行った。午前は12：00に終了。ゲストハウスへ戻り昼食を済ませ、午後



も午前と同様のメンバーでの活動。ラナケル小学校では生徒、校長先生、JICAのみなさんとグラウンドでの羽子板と手作りのサイコロの交換が行われた。ヴァヌアツと日本における文化交流の良さというものを実感した。そして記念撮影を終え、病院組と合流してゲストハウスへと戻り、夕食をとった。

7月17日（金曜日）

6：00起床。6：30に朝食をとり病院組（D．上崎、D．関根） 食事組（V．田代、V．原） 残りのメンバーでディバイン小学校とWhite Sandへ向かう事となった。7：00にPICK UPの車が来る予定であったが、前日の打ち合わせに不備が生じた。そのため車を再度手配し、8：30に

ようやくPICK UPの車が到着。病院組が先に向かい、遅れて到着した車にディバイン小学校、White Sand組が乗ることとなった。ディバイン小学校へ向かうが、休校というハプニングが起こる。仕方なくWhite Sandに向かった。こちらでは2ヶ月に1回、ニューカレドニアからボランティアでドクターが来られるらしい。診療は2日間(土曜日と日曜日)で1日当たり15人ほどの患者を診るとのこと。診療室の方も充填器、滅菌器、縫合セットなど充実していた。このWhite Sandの裏から見える海は素晴らしい景色であった。そしてゲストハウスへと戻り昼食を済ませ13:30に午後のPICK UPの車が到着。午後は病院のみでの活動となった。この日もフェスティバルの影響で患者が午前11名、午後4名と少なかった。この日の夜はJICAの方達がゲストハウスへと来られ、夕食をとりながら、お酒を飲み楽しい夜となった。明日、活動最終日という事で片付けの後、夕方からヤスール火山を見に行く予定となる。しかし夜から雨が降り出し、天候は崩れていった。



7月18日(土曜日)

7:00起床。昨夜から降り続いていた雨は上がっていたが、空は雲に覆われていた。活動最終日のこの日は病院組(D・上崎、D・関根夫妻、H・大西、H・垣内、V・山本)、食事組(D・沢田、V・川田、V・中西、V・田代、V・原)に分かれた。前日に続き、またもPICK UP予定の車が来ず、病院組は徒歩での移動をとった。午前中にゲストハウスヘラナケル小学校の校長先生が来られ、JDMのTシャツとポロシャツのプレゼント、そして校長先生からは、沢田先生に大阪船場ロータリー、八尾西山本ロータリー、津崎先生への感謝状を手渡された。そして日本との文化交流についての話し合いが行われた。12:00に昼食を済ませ、ゲストハウスの清掃、冷蔵庫を病院裏の保管庫へと片付けに向かい、病院の撤収作業を行なった。15:00、ヤスール火山に行く予定であったが、天候が回復しないため中止となってしまった。楽しみにしていただけに残念であった。そして夕食を済ませて、各自が荷物の整理など明日ゲストハウスを発つ準備を済ませ、床についた。



7月19日(日曜日)

7:30にPICK UP予定の車が来ず、予定通りに事が運ばない。ゲストハウスの裏に住む少年に頼んで、朝食をとる予定であるホワイトオーシャンリゾートへと車で送ってもらった。こちらで朝食を済

ませ、11:45 PICK UP 予定の車が来るまで自由時間となった。各自が海水浴や日光浴などを楽しんだ。そして空港へと向かった。13:10にタンナを発つ事となった。そして、14:00ポートビラへ到着。ここで活動中お世話になった関根夫妻とお別れする事になった。本当にお二人にはお世話になったので、お別れする時が辛かった。お二人はニューカレドニア経由で成田空港へ向かわれるとの事。

本当にお疲れ様でした。そして宿泊先となる、行きと同じMelanesian Hotelへローリー氏の車にて移動した。そして、D. 上崎、H. 大西、H. 垣内、V. 中西で、JICAの事務所へ今回活動に使用した電源関係、吉竹先生の光照射器を保管するため向かう事となった。そしてJICAの方の歯科検診を数名行なった。そしてホテルへ戻り、夕食まで自由時間となった。今回参加されたJDMの方、数名が疲れの影響で体調を壊され、夕食は数名でとる事になった。そしてホテルでみなさん疲れを癒し、明日ヴァヌアツを去る事になった。



7月20日(月曜日)

各自部屋にて朝食を済ませる事になり、7:00 PICK UPのローリー氏の車が到着する。そして空港へ向かうが、空港の受付カウンターにて旅行バッグや荷物を1度シンガポールにて降ろさないといけないというハプニングが起こった。なおかつ飛行機も9:00発の予定が1時間遅れるという事になってしまった。さすがにみなさん疲れているために苛立ちを隠せなかった。そして10:00ポートビラを発ち、11:40にシドニーに到着する。休む間もなく15:25シドニーを離れ、シンガポールへ向かった。21:50にシンガポールに到着。長時間の移動のため、みなさん疲れはピークだった。ここで川田さんとお別れする事になった。川田さんも活動中、いろいろ協力していただいた方だ。本当にお疲れ様でした。そして1:10にシンガポールを発ち、関西国際空港へと向かった。この日は機内での1泊となった。

7月21日(火曜日)

機内での朝を迎え、朝食を機内で済ませた。予定通り8:40無事、関西国際空港に到着。各自荷物を受け取り、解散式を終えた後、記念写真を撮り、そして各自解散した。

総括

昨年、子供たち、島民には、I'll be back! といいながら帰ってきました。

今年は、チームリーダーとして I'm back to タンナ島

関西から9名 関東から2名 マレーシアから1名 総勢12名

うち歯科医4名、衛生士2名、ボランティア6名でのミッションでした。

今回はタンナ島への行く初日から 重量オーバーでコンテナが3つ次便になったり、あるはずの JDM の冷蔵庫が倉庫になかったりと ハプニング続きで、さらに、前年と担当者が代わり病院のトップの非協力的な態度、約束が守られないこと、など戸惑うことばかりだったのです。さらに、去年あれだけ頼った、メディカルナースのティミーさんが 他島へ研修、不在だったのもショックでした。それにもかかわらず 全員で文化交流、業務記録、診療統計、検診統計、生活改善、写真記録 分担していただき感謝しております。

結果として、今年は島のイベントもかさなり患者数も検診数も少なかったのですが、その反面他島からも JICA のメンバーの方々が集まり貴重な情報を得られました。政府、州、地域と連携の取れてないことおびただしく、国民性の違い、『郷に入っては、郷に従え』とも言うように これも、それも みんな含めて バヌアツかとも思いました。また、人々の生活、私の少ない経験でも去年とは、何か違う そう、車が急に増えたように感じます。去年は 島に数台と聞いていたのに、今年はいたるところに流しのトラックが走り、なにか島の経済に変化があるような気がしました。

日本は、蒸し暑い梅雨の真最中に赤道越えし、シンガポール、シドニー経由で秋風のふく涼しいバヌアツへ それもこれも新型インフル発生のせいで 往路復路とも皆さんご苦労様でした。多少体調を崩された方もおられましたが、全員無事帰国できチームリーダーとしては非常に喜ばしいことでした。また、配慮、気配りの足りないところは全員で支えていただき非常に勉強になりましたし、 時節柄ミッションの使命は、全員が無事帰国することと 痛感いたしました。

また、来年も皆さん、ご縁があれば会えることを祈念して締めくくりたいと思います。

(上崎秀美)